

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

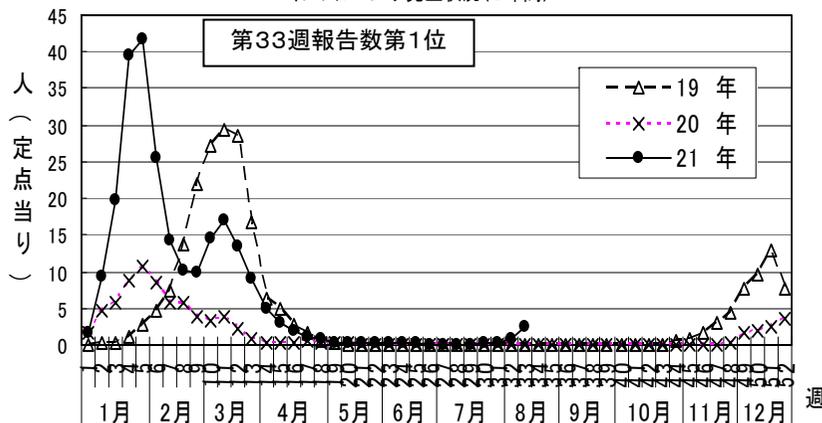


KAWASAKI CITY

平成21年8月10日（月）～8月16日（日）〔平成21年第33週〕の感染症発生状況

第33週で報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) 手足口病の順となっています。インフルエンザの報告数が1位となりました。インフルエンザは前週の約2倍の報告数（定点当りは前週の約2.5倍）となっていますので今後の発生動向には注意が必要です。

インフルエンザ発生状況(3年間)



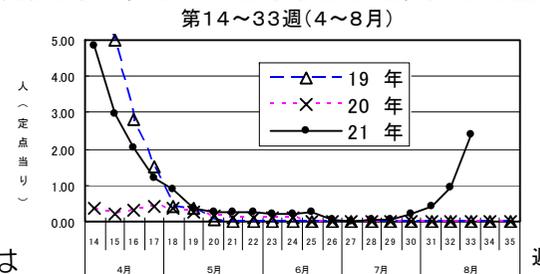
報告数倍増。インフルエンザに気をつけましょう！

第33週のインフルエンザの報告数は98件、定点あたり2.39人となりました。流行の基準とされる定点当たり1.0人を越えています。

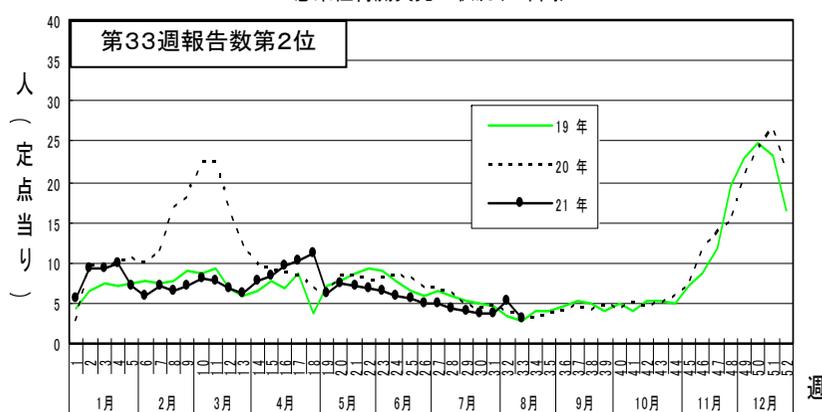
今回の夏季の流行は新型インフルエンザ患者の増加によるものと推測されます。

インフルエンザは急な発熱やせき、のどの痛み、全身のけん怠感などを主な症状とする急性の呼吸器疾患です。飛沫感染が主な感染経路で、感染防止には咳エチケット、うがいや手洗いなどがポイントです。

インフルエンザにかかったら、まわりの人にうつさないために『せきエチケット』を守りましょう。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



せき・くしゃみがあるときは～せきエチケット～

せき・くしゃみがあるときは、マスクをしましょう



せき・くしゃみがあるときは、口や鼻をおおきましょう。



- ◎ 鼻汁・痰（たん）などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。
- ◎ せきをしている人にマスクの着用をお願いします。